

『第一の儀式 身体浄化の禊』

お主が新たな巫女か？

ふん……なんじゃ、まだ童ではないか。

……まあ良い。

ほれ、名を言え。儂を待たせるな。

……そうか、ふむ、中々良い名じゃの。

儂は玉藻。この社の主であり、豊穰を司る神じゃ。

自分がやるべき仕事は……わかっておるよな？

お主は村の飢饉を救うため、この儂の贅としてその身を捧げてもらう。

この儂の贅となることを、光栄に思うが良いぞ？

くっくく……まあ、そう怯えるな。

なあに、悪いようにはせん。痛いこともせんから、安心しろ。

ほれ、こっちへ来い。

……くく、そうじゃそうじゃ。ほれ、もっとじゃ、もっと近くに……！

……ふむ、童じゃと思うてあまり期待はしていなかったが。

お主、男子であるというのになかなか可愛らしい顔立ちをしておるの。

なるほど……これはこれで悪くないではないか。

おや……？

ふん、なんじゃ、儂の乳肉がそんなに気になるのか？

不敬であるぞ、この儂の肉体は神聖なのじゃ。そうジロジロと見つめることは許さぬ…！

(小声)

……じゃ、じゃが……くう、なんじゃ、その面は……かわいいではないか……！

そんな面を見せられたら……熟れた身体が年甲斐もなく、火照ってしまう……！

(ここまで)

い、いや、なんでもないぞ。

普段であれば目玉をくり抜いて二度と光を見ることができぬようにするところじゃが……

特別に、お主の無礼を許してやろう。

何せ、お主は儂の巫女なのじゃ。詫びさえあれば、多少の無礼には目を瞑ろうではないか。

くく……！

ほれ、何を惚けておる。詫びじゃ、詫び。早うせんか。

はあ……なぜ頭を下げておる。

まさか、それがお主の誠意なのか？

……しょうがない童じゃの。

ん、よい、しょっと……！

(囁き)

ほれ、詫びとは、儂の乳房を揉むことじゃ。それも、力いっぱい、めちゃくちゃにな……♡
む、どうしたのじゃ……？

お主も、揉みたいのじゃろう？

この巨大な乳房を鷲掴みにして、ぎゅうう、とな。

……うむ。

ならば遠慮せずに揉まぬかっ！

早く儂のこの乳を、揉みしだくのじゃあっ！♡

(囁き　ここまで)

(乳揉みここから)

ん、あん♡

ははっ、何とも愛らしいものよ。鼻息を荒らげながら必死に乳を揉みおって、まるで赤子のようじゃの……！

くく、ますます気に入ったわ。

……ほれほれ、乳に顔を埋めても良いのじゃぞ～♡

しかし……お主は、随分と痩せ細っておるのう。

……ん、ああ、そうか。

飢饉のために、食べ物もマトモに得られなかったのか。

なら、一刻も早く儀式をやらねばの。

(乳揉みここまで)

……うん？ 何をするつもりなのか、じゃと？

決まっておろう。儂は豊穰の神なのじゃ。

儂がどのようにして食物を生み出したのかは、村で語り継がれる神話で知っているであろう？

儂とお主は、これからその神話を辿るのじゃ♡

(囁き)

溢れんばかりの霊力が満ちた儂の糞を用い、霊脈を甦らせ、再びこの地に作物を実らせる。
そして今宵は、その神話の第一幕。最初の儀式を執り行う。

第一の儀式。それは、お主の身体を浄化することじゃ……。

(ここまで)

(より間近で囁き)

これからお主に、儂の糞をたあっぷりと注ぎ、その身体を作り変えてやる。

つまるところ……お主には儂の霊力を受ける受け皿……儂専用の便器になってもらおうという話じゃ♡

(ここまで)

……困惑しておるのう、かわゆいのう……♡

でも、けして容赦はせんぞ♡

大事な儀式なのじゃ、手を抜くわけにはいかぬ。

これも村の人々を救うため。だからの、頑張って我慢するのじゃ……♡

お主は良い子じゃろう？

我慢、できるよな？

よしよし……いい子いい子、じゃ……♡

それでは早速、始めるとするかの。

さあ、はよう横になれ。儂が糞をしやすいように、便器となるのじゃ……！

そうじゃ♡そのまま仰向けになっておれ♡

その可愛いお顔に、儂の大きなお尻を乗せやすいように、なッ！♡

(顔面騎乗開始)

これこれ、もがくでない♡

くくく……まずは小手調べじゃ。

儂の中で熟成されたくっさい尻を嗅がせてやろう……ッ！

……んっ、出るぞお……ッ！

臭すぎてもッ、気を、失うでないぞおッ♡

ぬおおおッ……！！！！♡

(放屁 大きめ)

くくっ、凄いのが出たのう♡

社の中が一瞬で尻の臭いに満たされてしまうた。

おお、咳き込むでない。無礼じゃぞ。儂の濃厚な尻を嗅げるのは、巫女であるお主だけなの

じゃ……存分に堪能するんじゃ、ぞっ！

(放屁 大きめ)

ふうーっ……おいおい、手足が震えておるぞ。屁だけでこんなに弱々しくなってしまうとは、幸先が不安じゃのう……。

どれ、もう一発……！

(放屁 中ぐらいを三連発)

すまんのぉ……一発どころか、一気に三発も連続でコいてしもうた……♡

ほおら、まだまだ出てくるぞ……ん、ほおうっ♡

(放屁 大きめ)

む……？

なんじゃあ、これは……♡

お主の股間に、童には似合わないものがそびえ立っておるぞ……！？

くっくっく……まさか、興奮しているのか？

先ほどまではくさいくさいともがいておったのに、今度は期待するように腰を浮かせておる……なんとも浅ましい童よのう……ふんっ！

(放屁 大きめ)

なんじゃなんじゃ、儂が屁を垂れるとチンポがビクリと跳ねおった♡

屁で興奮するチンポなど、変態じゃの♡

どうしようもない変態チンポじゃ……♡

くく……ほれ、先端から涎を垂らして、儂の糞を求めて泣いておる……♡

のう、お主……儂の糞が、そんなに欲しいのか？

……ちなみに、嘘はいかんぞ。

お主は屁の臭いと熱にこんなにも興奮しておるのじゃ。

もっと凄まじいものを欲しがっておるのは、明白であろう？♡

ほれ、儂の糞が欲しいのなら、浅ましくチンポを揺らして見せよ……♡

(数秒の間)

くく、仕方のない奴じゃ……ならば、お望み通りくれてやろうではないか♡
ほれ、口を開けい。そこに直接糞を放り込んでやる……♡
いくらもがいても、儂が全て出し切るまでは、お主を絶対に解放せんからの。
途中で公開しないように、覚悟を決めるが良い……♡

(排便我慢しながら恍惚と)
おっ、おお～～ッ♡
糞が降りてきたぞおっ！
ほれっ、ほれほれっ……脱糞前に、景気づけのくっさいオナラじゃッ！♡
全て嗅ぎきるがよいっ！
ふ、うんッッ！！♡

(放屁 大きめ 二連発)

ほれ、嗅げ、嗅ぐのじゃ……！
ぐずぐずせず、さっさと全部吸い込めえっ……！♡
んおっ、んんんっ！！♡
んんっ、糞が、糞がでるうっ♡
ほら、ほらほらっ、もっと嗅げッ、ふんっ、フンンンッッ！！♡

(放屁 大きめ 長め)

んおおっ、よい、よいぞっ！
儂も昂ってきたっ！♡
共に、糞で果てようぞっ！♡
儂がぶりぶりと糞をひり出す瞬間に、お主もその濃ゆい精を吐き出せ……！♡
くくくっ♡チンポに触れることなく、糞だけでみっともなく射精するのじゃっ！♡
んっ、んんんっ！♡んほおおおッッ！！♡
出るっ、出る出る出るっ、糞が出るう～～ッ！♡
千年ぶりの脱糞で果てるのじゃあっ！♡
人の子には勿体ない儂のデカ糞ッ！♡
余すことなくその口で味わい尽くすが良いぞっ！♡
おおおおっ！♡んおオッ、おほっ、おっ、おっ、おほおおおッッ！！♡

(脱糞 絶頂)

(脱糞しつつ、快感に酔いながら)

んぬうう〜っ！♡ぶっとい糞が出ておるぞおっ！♡

どうじゃっ、どうじゃどうじゃどうじゃっ♡儂の糞の臭い、味はあっ！♡

くははっ、さあ果てよっ！♡ 射精してしまえっ！♡

んんっ、んんんんっ！！♡

(射精)

おっ、出た出た♡

ほれ、もっと出せるじゃろっ！♡

ふんっ、ふんんっ！♡

出せ出せ出せえっ！♡

おおっ、おおっ、おおおおおおッ！！♡

こんなものでは無いぞっ、まだまだ糞は終わらんっ！♡

んおおおおッ！♡おおおっ、おおおっ！♡

んぬっ、んぬっ、んぬううっ！！♡

ああッ、癖になりそうじゃあっ……！♡

そら、受け取れいっ！♡お主が好きなだけ、糞をぶちまけてやろうっ！♡

ふんっ、ふんっ、んおおおおッ……！！♡

ぬっ、おおおおっ……！！♡

あひっ、おほおッ……♡

(数分後)

(余韻に浸りながら)

はあ、はあ、はあ……♡

くっくっく……♡

しもうたな、強烈な快楽に酔って、加減することなく童の顔を糞で埋めてしもうた……♡

糞で窒息して、死んでしまったかの？♡

くふふ……しかし、この光景。なかなかそそるものがあるのう……♡

小さな童を儂の糞で犯し尽くす……くく、中々悪くない♡

これは、甘美であるな♡

どれ、童を生き返らせてやるか……ふんッ！♡

(放屁 大きめ)

ふふ、起きたか♡

儂の糞の味はどうじゃったかの？

今まで食ろうてきた何物よりも素晴らしい味わいであつたじゃろう……？♡

さ、飢饉の村を救いたいのであれば、もう少し儂に付き合うてくれ。

儀式は全部で三つ、これで終わりではないぞ♡

じゃが、今はゆっくり身体を休めよ♡でないと、次の儀式に耐えられんからの♡

これからが楽しみじゃのう♡

可愛い可愛い、儂の巫女様よ♡くくくく……！♡

『第二の儀式 心と身体を捧げる契』

お、起きたか。

さあ、十分休んだのなら第二の儀式を始めるぞ……♡

次は何をするのか、じゃと？

くく、儂についてくればすぐにわかる。

ほれ、歩くのが億劫であるならばおぶってやっても良いぞ？♡

歩くたびに揺れるこの凄まじい乳肉に抱きついて、甘えながら一緒に歩みを進めるのじゃ♡

おうおう、恥ずかしがりおって。お主はやはりまだまだ童じゃのう♡

ほれ、そんな初心なお主には手を繋ぐだけで十分じゃ。

はよう握れ。

……うむ。

それでは、共に向かおうぞ。

ふふ、こうして手を繋いで歩いておると、まるで人の親子のようじゃの♡

ところでお主、母や父はおるのか？

ん？ どうしたのじゃ、いきなり立ち止まって……。

……む、おらぬと申すか……ふうん……それは、寂しかったのう……。

くく、じゃが、それならば、逆に好都合じゃ……♡

どれ、慰みに今日だけは儂がお主の母親になってやろう♡

もちろん……嫌とは言わぬよな？

よし、それでは儂を母親と思い、試しに抱き着いてみよ♡

遠慮するでないぞ♡この大きな乳肉に顔を埋めてたっぷり甘えるのじゃ♡

ほれ、はようはよう♡

(囁き 抱きながら)

こうしていると、昔を思い出して懐かしい気分になるであろう？♡

……お主の母上は、どんな人だったのじゃ？

このように、お主を優しく抱きしめてくれるような人だったのか……？♡

うんうん、そうか。

ならば、お主を抱っこして、抱き抱えながら歩いてやろうぞ。歩く度にたふんたふんと揺れるこの乳肉に、たあっぷり甘えるが良い……♡

よしよし……♡

さあ、気を取り直して共に行こうぞ、儂の可愛い我が子よ……♡

(ここまで)

着いたぞ、ここじゃ。

ここはの、儂の力を分けて封じておる祠じゃ。

さあ、入るぞ♡

儂一人分ほどの空間しかないからの、儂にしっかりと抱きついておれ……♡

くく、やはり狭いのう……儂とお主が入るとなると、否が応でも互いを抱きしめあい、密着しなければならぬ。

……む？

どうしたのじゃ、身体を震わせて……もしかして、暗がりか、怖いのか？

(以降囁き)

大丈夫じゃ、母上がおるからの♡

ほれ……抱きしめあいながらこうして囁けば、共にいることがわかって安心できるじゃろ……？♡

さあ、お主も儂にぎゅっと抱きつき、その身を委ねるがいい……♡

おお、そうじゃ、それで良い、幼子が母上に甘えるように、抱きつくのじゃ……太ももに脚をからませ、腕を背中に回し、顔は乳肉の中……ふふ、こうも密着しておれば、不安も消えるであろう？♡

そのまま、じっとしておれ……♡

うむ、それでは……第二の儀式を始めようぞ……♡

まずは……ふんっ……♡

(放屁 大きめ)

んんうっ……♡くく、どうじゃ、母上の屁じゃぞ……♡

くくっ、狭い空間であるが故に、臭いも籠ってしょうがないの……。

さあ、この狭い祠で、お主の全身をオナラ漬けにして、儂の臭いを染み込ませてやる……♡

おおっ、おおっ、おおお……ッ！♡

(放屁 大きめ)

ふーっ、ふーっ、ふううんっ……！♡

ふはあ……♡

くく、屁が効いたみたいじゃのう♡チンポが膨らんでおる♡

この祠の中は、お主と母上だけの空間♡

神と人の子が溶け合い、互いに母と子として求め合う。

子は母から与えられる愛を受け止め、自身もまた愛を返す。

母は子から返された愛をより大きな愛で包み込み、また子に捧ぐ。

儂とお主が、互いの身体と心を捧げあう契。

それが第二の儀式じゃ♡

つまり……ふん、ぬおおっ……！♡

(放屁 大きめ)

お主は、その小さな身体で、たあつぷりと母の愛……屁を、糞を受け止めるのじゃ……♡

そして、その愛に、興奮を、捧げるのじゃ……ッ♡

んぐううッ……！♡

(放屁 長め)

くっさあ……激臭じゃ……♡

じゃが、これが心地よいのじゃろう？♡

ほれ、もっと深く息を吸って、鼻腔に思い切り屁を取り込むのじゃ♡

くく、すうう～♡ はあああ……♡

ふふ、恍惚とした、良い顔をする♡

変態の子を持った母は大変じゃのっ♡こうして屁を捧げてやらねばならんとは♡

どれ、今度は唾の餌付けじゃっ、さあ我が子よ、口を大きく開けて舌を突き出せっ♡

ちゅば♡じゅるるるるる♡れろお♡ あむ♡ちゅば♡れろお♡

んっ、飲めっ……じゅちゅっ、流し込んだ唾を、ごくりと飲み干すのじゃっ♡

(アドリブで深いキス 10 秒：@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@)

ぷはっ……くく、お主の顔が蕩けておるぞ♡
ん～？♡
なんじゃ、物欲しそうに儂を見つめて……♡
もしかして、屁のおかわりが欲しいのか？♡
ならばもう一度、母の愛をくれてやろうぞ……♡
ん、んううううう……！♡♡

(放屁 大きめ)

ふううう……ふうううう……♡
甘美、甘美じゃっ……♡ お主のような可愛らしい童を、儂の全てで調教しておる……♡く
く、たまらぬなあ……♡
うん？ どうした、そんなにも震えて……寒いのか？♡
ならば、こうして抱き合って温め合おうではないか♡
ほれ、こうして抱きしめあって……ふんんっ！

(放屁 大きめ)

あつうい屁で、ぽかぽかじゃっ……くくくっ♡
のう、お主よ……先程より、母上の太ももにかたあい何かが甘えておるのじゃが……♡
くく、これは一体何なのかのう……♡
おやおや、恥ずかしそうに頬を染めおって……ほれ、お主の口で言うてみんか、これは、なんなのじゃ？♡

……んー？
くく、顔を真っ赤にして俯いてしまった♡これが何なのか、わからぬのか？♡
仕方ない童じゃのう♡
どれ、これが何なのか、母が教えてやろう♡
これの名はあ……

(囁き より間近で)

ち・ん・ぽ♡
興奮すると膨らんで甘えてくるのじゃが……まさか、母上相手に興奮などするはずないしのう？♡

むむ、ならばなぜこのように膨らんでおるのじゃろうな？♡

はて、母上にはまったくわからぬ♡

のう、お主は原因が何か、わかるかの？

母上に、ゆっくりでいいから教えてくれんかの……？♡

（以降 普通の囁き）

おお、そうじゃったのか……！♡

お主は屁や糞だけではなく、母上にも興奮してしまうのじゃな♡

それならばしょうがないのう♡

スケベな母上の胸に抱かれて、唾を飲まされて、屁を嗅がされて……それで興奮するなという方が無理な話じゃろう♡

ならば、興奮してしまった可哀想な我が子を甘やかすのは、母上の仕事♡

さあ、脱げ♡チンポを出せ♡母上が、お主の大好きな屁と糞で、甘やかしてやろうぞ……！

♡

……うむうむ、お主の可愛い勃起ちんぽ、素敵じゃぞ♡

皮被りの、お粗末なものじゃがの♡

じゃが、立派に膨らんで、精いっぱい母上に甘えておる♡

偉い偉い♡おお……よしよし♡

……む？

もちろん、バカにしている訳では無いぞ♡

お主のような童が懸命に勃起しているのじゃ、これを愛しく思わん母がどこにおるというのか♡

安心せい、母上がすぐに慰めてやるからのう……♡

どれ、太ももの間にお主のものを挟んで……うむ、これで準備は完了じゃ、それでは、ゆくぞ……♡

びっくりして精を漏らすなよ……♡ふんっ！♡

（放屁 大きめ 三連発）

んっ！♡んおうっ！♡んんーっ！♡

どうじゃ……？ 母上のオナラは、気持ちいいか？♡

おお、チンポがピクついておる♡悦んでおるのじゃな♡

ほれ、ほれ、もっと出すぞ、しっかりその肉棒で受け止めよ♡

ぬうんっ！♡ふんぬっ！♡ふんぬっ！♡ ふうう～……♡

(放屁 中 四連発)

ふふ、臭いのう、熱いのう♡

母上の臭気をたっぷり味わいながら、母上の熱を味わうが良い♡

そして、この祠の中で、本物の親子になるのじゃっ……♡

んぐ、おおおっ……ッ！♡

(放屁 大きめ 長め)

ふふ……おや？

お主、何か物欲しげな顔をしておるの……♡

ふふ、くくくく♡

そうか……まだまだ物足りぬのか……♡

よいぞ、ならば母が思う存分愛を注いでやろう……！♡

お主がだあい好きな、母上のおっきなうんこ……チンポにぶちまけてやろう♡

どんな糞が出るかの……？♡

ぶっといのか、細いのか、緩いのか、硬いのか……お主の好み通りの糞をひり出してやろう……♡

なぜならば、儂はお主の母上。

子の求めるものは全て分かっておる♡

(恍惚と)

さあ、ほれ、ほれっ……♡出るぞっ……！♡

屁も、勝手に肛門から逃げ出しておるっ！

ぶうぶうと下品な音じゃ……♡

だが……ふんっ！♡

(放屁 大きめ)

この臭いと音が、より興奮を掻き立てるのよな？♡

お主の顔も蕩けきっておる♡

くくく……♡

母上は嬉しいぞ♡お主がここまで、母を好いておるとはなあ♡

ならば、お望み通り、全て出し切ってやろう……♡

ほれ、ほれっ、出るぞっ、糞が出るぞおっ！♡

母上の甘やかしうんこ、チンポにぶちまけられて、呆気なく射精してしまえっ……！♡

ふんっ♡ぬううううっ！♡

(いきみ声 5 秒：@@@@@@@@@@@@@@@)

(脱糞 絶頂 射精)

(快感に浸りながら)

はあー……♡ おお……出るっ、出るうっ……♡

凄まじい量じゃ……♡

くっく、これが母の愛情じゃ♡ 心行くまで堪能するがよい♡

お主の子種汁も、母上の糞に向けてびゅるびゅると漏れておるぞ♡

おお……♡

これは、たまらんな……♡

母も興奮してしまうのじゃ……♡

我が子に興奮してしまうスケベな母を、許しておくれ……♡

ん……出し切った、かの？

おううっ！♡

(放屁 大きめ)

くく……儂も最後っ屁が出おった、お主の母上らしい、立派なおならじゃったのう♡

(囁きここまで)

……お、雨か♡

恵みの雨じゃの、儀式は成功のようじゃ♡

この雨があれば、暫くは村も安泰であろう。

へくちっ……おお、さすがに少し、冷えてきたの。

どれ、そろそろ帰るとしよう。

さあ、甘えん坊の我が子は母上が抱っこしながら連れて帰ってやろう♡

……む？

おおおお、チンポが、また大きくなっておるではないか♡

まだ甘え足らぬのかの？♡

じゃがのう……だーめ、じゃ♡

まだ第三の儀式が残っておる。我慢せよ♡

くく……第三の儀式はの、下手をするとお主の命を奪いかねん危険なものなのじゃ。

お主も、まだ死にたくはないじゃろう？

うむうむ、ならば一週間は、子種を吐き出すのを我慢してもらうぞ♡

母上との約束じゃ、良いな？♡

……うむ！

それでは家に帰るぞ。

今日から一週間、母上が手ずから精のつくものの用意をしてやろう。

それだけではないぞ……一週間ずーっと、お主のチンポを儂が苛立たせてやろう♡

こうやって……♡

んっ……乳肉を押し付けて誘惑したり……ふふ、お主の玉を揉んで按摩をしてやろう♡

ああ、もちろんデカくてスケベな糞も、毎日見てもらうからの♡

さあ、金玉を精液でグツグツに煮えたぎらせる一週間の始まりじゃ♡

期日まで、頑張って堪え続けるんじゃぞ……ふふふ……♡

『幕間 金玉を煮えたぎらせる熱と悪臭』

おい、お主、何をしておる。

……チンポを取り出して、何をしておるのかと問うておるのじゃ。

ふうん……なるほどの。

儂に隠れて一人で自慰に耽るとは、ふふ……悪い子じゃな♡

のう、忘れたとは言わせんぞ。一週間は射精してはならぬと、そう言ったであろう？

ん？

何か言いたそうじゃのう。なんじゃ、言い訳か？

まあよい、聞いてやろう。

ほう？

射精するつもりはなかった、途中でやめるつもりだった、とな？

ふん……どうじゃろうな。

どうせ途中で我慢できなくなって精を吐き散らかすに決まっておる。

……そんなこと、ない？

……くく、本当か？

なら、見せてもらおうか。

お主が我慢できるというのなら、儂も最高のオカズを提供してやる。

付いて来い、廁へ行くぞ……♡

よし、着いたの。さあ、お主も儂と共に厠の中へ入れ。

さて、始めとするかの……。

くく……何をするつもりなのか、疑問に思うておる顔じゃのう♡

なあに、ちょっとした遊戯じゃ。

お主は、ただ儂の姿を見つめながらチンポを扱いておれば良い。

ただし、射精はしてはいかんぞ？

もし精を吐き出してしもうたら……その時は、お主のチンポに蓋をして、射精はもちろん勃起すら出来ぬようにしてやる。

なあに、大丈夫じゃ……♡

射精をしなければ良いだけ。チンポを扱うスピードを、射精しない程度に収めればいだけじゃ。

先ほど言っていたことが本当なら、我慢など容易であろう？

くくく……♡

ほれ、始めようかの……♡

まずは……くふ♡

(服を脱ぐ)

ほおら、儂のいやらしい肉体を見よ……♡

くう、お主の視線は心地良いのう♡

遠慮の欠片もなく儂の身体を舐め回すように見おって♡くくく……♡

ほれ、チンポが疼いて仕方がないのじゃろ？

さっさとシコシコせんか、このド助平が♡

ほおれ♡乳も揺らしてやろう♡

デカすぎる乳を、ぷっくり膨れたこのいやらしい乳首を、存分に見るがよい♡

ふふ……どうした？ 息が荒くなっておるぞ？♡

お主の頭の中で、どんな妄想が繰り広げられているのか、想像がつくのう……♡

この豊満な乳でチンポを挟んでもらいたいのか？

それとも……乳首を口いっぱい頬張って甘えたいのか？

くく……どっちも、だあめ、じゃ♡

我慢我慢、シコシコだけで我慢するのじゃ♡

ああん♡そんなに悲しそうな顔をするな♡

もしそんなことをしたら、禁欲中の今のお主では直ぐに果ててしまうじゃろう？

さあ、そろそろ次じゃの……♡

次はあ……ここじゃ♡

儂の、お・ま・ん・こ♡

お主のことが大好きな女陰（ほと）じゃ♡

ぐふふ……♡

さあ、もっと近う寄って、その目でしかと見るが良い♡

ほれ、くばあ～♡

見よっ……なんとスケベな雌穴じゃ♡

真っ赤に充血してヒクついておるぞ♡

お主のことを求めて奥から涎も垂らしておる♡

早くここにチンポをぶち込んで欲しいと言うておるのじゃろうなあ……♡

くく、お主、鼻息が荒くなっておるぞ♡チンポも充血してもっと大きく膨れ上がっておる♡

じゃがの……お主はマンコよりも、好きな場所があるのではないか？♡

……ふふ、儂は分かっておるぞ♡

お主は、尻の方が好きなのじゃろう？♡

それもお……デカくて、ムチツとしていて、毛深い、下品なデカケツ……♡

くく……お望み通り、たっぷりこの尻を見せつけてやろう……！

（お尻を左右に振りながら）

ほおれっ、どうじゃあ♡下品なケツ振りダンス♡

尻を左右に振ってえ……♡むちっ♡ぶりんっ♡たゆん……っ♡

くく……どうじゃ？♡

凄まじく下品で、いやらしいじゃろう？♡お主の大好物じゃろう？♡

なんじゃあ？ そんなに凝視しておってから……♡

そんなに、好きなのか？♡

この淫乱なっ、肉の塊が……っ！♡

ほれ、ほれ、ほおれっ……！♡くくくく……♡

まったく、本当に好き者じゃのう♡

いいぞお、お主の欲情しきったその表情♡

儂も、興奮してしまう……♡

……んっ、ふう～ッ！♡

（放屁 大きめ）

おっと、興奮のあまり尻が漏れてしもうた♡

くっさいのう♡発情した雄の匂いと尻の臭いが混ざりあっておる♡

どれ……もう一発……！

ふううんっ！

(放屁 大きめ)

おお、また出たのう♡

ああ、甘美じゃ……お主に尻をぶちまける姿を見られておると思うと、興奮が止まらぬ……♡

さあ、僕のひくつく肛門をじっくり見ておるのじゃぞ？

もう一発、どでかいのをくれてやるからの……♡

お、おお……♡ほおれ、ほれ、ほれっ……！

(放屁 大きめ 長め)

おおっ、くっさあ……♡

……おっと、くく……のう、お主よ……♡

(囁き)

尻をコいていたら、今度は糞も一緒に降りて来たぞ……♡
のう……？

諦めて、果ててしまおうぞ？♡

お主の目の前で、最高の脱糞を見せてやる……♡

ここで僕の糞にぶちまけねば、きっと後悔してしまうぞ？

先ほどより、尻がお主の射精を招いておるじゃろう？♡

デカ糞に精を吐き出せ、うんこを孕ませろ、とな♡

さあ、もういいじゃろう？♡お主のチンポも、もう限界のはずじゃ♡

良いでは無いか、仮に出してしまったとしても、少し我慢すれば良いだけなのじゃ♡

僕も、糞をひり出して果ててやる。だから、な？♡

共に、果てようぞ？♡

(囁きここまで)

……うむ！♡良いお返事じゃ……♡

ご褒美に、尻肉を揉んでも良いぞ……♡ほれ、遠慮なく触ってみよ……♡

ぐふふ……♡そうじゃ、上手いではないか……♡

ほれほれ、顔を近づけて僕の尻穴をじっくり見ろ♡

ひくひく蠢く下品なケツ穴じゃ♡お主のチンポを欲しがって疼いておる♡

ん、おお～ツ……♡尻を揉まれると、腹も緩くなってくるの……ふんっ！♡

(放屁 大きめ 三連発)

くく、お主の顔面に尻をぶちまけてしもうた♡すまんのう♡
じゃが、興奮はより高まっておるであろう？♡
ほれ、儂の尻を嗅いでお主のチンポがビクンと跳ね上がりおったぞ♡
やはり、儂の尻が大好きなのじゃな、お主は♡

ふふ、それではそろそろ、始めるとするかの……♡
お主も準備万端のようじゃしな……♡
ほれ、ケツ穴にチンポの先をあてがえ……！♡
挿入はまだ許さぬが……代わりに、お主のチンポに儂の糞をぶちまけてやろう♡
お主は随分とチンポで糞の熱を感じるのが好きなようじゃからの♡
糞に埋められる快感で射精とは、変態のお主にピッタリの果て方であろう？♡

(排便我慢しながら恍惚と)
おおっ……♡来るっ……！♡出るっ！♡
ぐふ、ううっ！♡熱いのが、降りてくるのじゃっ……！♡
さあ、準備は、いいかの？♡
三・二・一で、果てるのじゃっ……！♡
その瞬間にお主のチンポを糞で包み込んでやろうぞっ！♡

(いきみ声 10 秒：@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@)

おぐうう……でるううっ！♡
さああつ、糞が、出るぞおっっ……！♡
こゆうい精で、儂の糞を白く染めろおッ……！♡
さあん……にいい……いいいいちっ……！♡
ふんッ、ぐうううううッッッ!!♡

(脱糞 射精 絶頂)

(快感に酔いながら)
おおおっ！♡出たっ！♡ 出ておるぞおっ♡
お主のチンポに、ぶっとい儂の糞をぶっかけておるうっ！♡ほおおおっ♡
ぎもちいいいっ！♡最高じゃあっ……♡おお、まだ、まだまだ出すぞおっ！♡

(喘ぎ 5 秒：@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@)

はあんっ！♡ おおっ！♡おっ、ぬほおおおおっ！♡

ケツ穴めくれてっ、イっ、ぐううんっ！♡

（余韻に浸りながら）

はあ、はあ、はあ……♡

おうっ……ん……おお……！♡

くふ♡お主のチンポが、糞まみれじゃ……♡

ふうーっ……♡出した、出したぞ……♡

お主のチンポに、糞をたっぷりと塗りつけてやったわ……♡

気分は、どうじゃ？♡

おお……♡そうかそうか……♡

ふふ、やはりお主は、愛いのう……♡

くふふふっ！♡おいお主よ、約束を忘れたわけではあるまいな？

とぼけるでない♡

もし射精してしまったら……その時はチンポに蓋をすると、そう言うたであろう？♡

ほれ、これを見よ……♡

これは、貞操帯というものじゃ♡

これでお主の射精を管理してやる♡少なくとも……そうじゃの、射精した仕置きとして、ひと月は我慢してもらおうかの♡

おっと♡暴れるでない♡

言いつけを守れぬ悪い童には、ちゃあんと罰を与えねばならん……♡

さあ、チンポを封じさせてもらうぞ……♡

さて、こうして装着したからには、もうお主は自分の手でチンポをいじることとはできん……

♡

さあ、射精禁止の地獄の一か月の始まりじゃ♡

禁欲の後、お主がどうなっているのか、楽しみにしておるぞ……くふふふっ……♡

『第三の儀式 神と人の交尾』

くく……なんじゃ？♡

ワシに抱きついてへこへこと腰を振りおって……♡

まるで発情期の猿じゃの……♡

んー？

もう我慢できない？

早く射精させてくれ、とな……？

くふ♡まったく、堪え性のない奴め……♡

ま、よかろう。確かに今日が約束の日。

一か月もよく耐えたと褒めてやろう……♡

しかし、第三の儀式は中々にキツイぞ。

ひょっとしたら、貞操帯を外したことを後悔するやもしれん。

やめておくのなら、今のうちじゃぞ？

……って、おいおい、鼻息が荒いの♡

興奮しすぎじゃろう♡

そんなに待ち遠しかったのか？♡

くふふ♡まあ、その態度を見るにやめるという選択肢はそもそもなさそうじゃの♡

それでは、始めるとするか♡

なに、心配はいらん♡

お主はただ、儂に身を委ねていれば良いのじゃ……♡

さあ、まずはこの貞操帯を、外してやろうな……

……ん、おおっ！♡

外した途端にビンビンに勃起しおった！♡

先っぽから我慢汁をダラダラ垂れ流して……これは、凄まじいの……♡

ほれ、それでは準備運動がてら、儂の手で慰めながら儀式について説明してやろう。

(手コキ開始)

んっ……しこ、しこ……しこ、しこ……♡

くふ♡儂の手は、気持ちいいか？♡

久々の快樂の味はどうじゃ？

夢見心地であろう？

ん、なんじゃ～？♡もっと激しくしてくれ、じゃと？♡

む……仕方ないのう♡

シコシコ……シコシコ……♡

どうじゃ？♡このぐらいがちょうど良さそうかのう？♡

くく、そうかそうか、それは、何よりじゃ……♡

じゃが、うっかり精を漏らすなよ。第三の儀式はお主の精液を一滴たりとも無駄にはできないのじゃからの……！♡

第一の儀式は、お主の身体の浄化。

第二の儀式は、儂とお主が互いの身体と心を捧げる契。

そして、最後の第三の儀式は……！

神と人の子の、交わり。

儂とお主は、この最後の儀を通して、一つになるのじゃ……！♡

お主の全てを、我が肉体に受け入れ、溶かし込み、混じり合う……♡

はあ、はあ……♡

儂も想像しただけで、興奮してしまうわ……♡

っ、つまりはのっ、交尾っ、交尾じゃっ♡お主と、交尾するのじゃっ……♡

このいきり立ったチンポを儂のメス穴にぶち込んで、ドクドクと子種を注ぎ込むのじゃ…
…！♡

ああ、考えただけでも、果てそうじゃ……♡

(手コキ終了)

(囁き)

のう……お主は、どうなのじゃ？

儂を、抱きたいと思うかの？♡

……いや、何も答えずとも良い。

くふ♡お主の顔を見ていれば分かるわ♡

交わることしか頭がない、スケベ顔じゃ♡

素敵じゃぞ……ん、ちゅう……♡

(囁きここまで)

はあっ、はあっ、はあ……♡

さあ、そろそろ本番といこうではないか……♡

んっ……ほれ、ムチムチの儂の身体に、抱きつけ……！♡

そうそう、肉付きが良くて、抱き心地が良いであろう？

そのまま乳肉に顔を埋めながら、儂の顔を見ろ……！♡

お主の舌を絡めとってやるからの……♡

んじゅるっ、ぢゅるるっ♡

(深いキス五秒：@@@@@@@@@@@@@@@@)

ちゅばっ……♡

くふ……上手じゃのう♡

必死に舌を絡ませて……くふ、可愛い奴じゃ……♡

さ、もう我慢できないのじゃろう？♡

くふふ……お主の全てを受け入れようぞ……♡

まあ、一つになるとは言っても……！

最初は、儂のケツ穴と交わってもらおうぞ♡

くふふっ……マンコ交尾はまた後で、じゃ♡

もちろん、これも儀式の一貫じゃぞ。

お主の精液を腸内から取り込むことによって、儂とお主はより一つになれるのじゃ♡

儂の女陰を犯せるのは、最後の一回だけ♡

ケツ穴交尾を繰り返すことで、お主と儂はほぼ同一の存在になる。

そして最後に、同一の存在である儂たちが子作りを行ったその時に、祝福が与えられ、大いなる恵みが大地を覆う……！♡

くく、飢饉など最低でも数千年は起こらないじゃろうな。

ほれ、これが今からお主のモノが入るケツ穴じゃ♡

この、ヒクついたケツ穴を、よおく見ておるが良い……強欲な儂のケツが、お主のおちんぽを飲み込むところをな……♡

……で、でかいの……なかなか、入らぬ……！♡

お、おかしい。お主のチンポは、もっと小さかったはずじゃ……！

な、なにを心配しておるっ！

だ、大丈夫じゃ、儂に任せろ。ゆっくり挿入すればなんのことは……っ！

ん、な、何をしておる、ちょっと待てっ、おおおおっ！♡

や、やめよっ！♡無理やり押し込むでないっ……！♡

(ゆっくり挿入)

ぐっ、ぐおっ！♡ お、おおおおおっ！♡ は、はいつてぐるっ！♡

お主のチンポが、入ってくるう……！♡

おおッ……♡ケツ穴が、広がって……♡あ、ああ……く、糞をひり出しているようじゃ……

うぐっ、ま、まずいッ、あ、頭が、溶けるう……♡

こ、これはいかんっ、い、一旦ストップじゃっ……！♡

んおおッ！！♡

(一気に挿入)

そ、んなっ……い、一気に奥、まで……ッ♡

ケツ穴が、広がりすぎてっ……おおおっ……壊れて、しまいそうじゃあ……♡
す、すまん、しばらくこの状態で、慣れさせてはもらえんかの……？♡
へ……？

(ピストン開始)

んおおおっ！♡腰を振るなあっ、馬鹿者おっ……！♡
し、かもっ、いきなりッ……そんなに激しくしたらっ、すぐイクッ、イッてしまうう……！
♡
う、うぎいっ！♡お、おほっ！♡イグッ、イグウ！♡
お主のチンポッ、す、すごすぎるっ♡
こんなの、耐えられぬっ♡ああ、だめ、ダメじゃっ！♡イッぐううッ！♡

(絶頂)

(放屁 大きめ)

(ピストン一時停止)

お、おおおっ！♡ お、おほお……♡
潮と、屁が、勝手に出ておる……！♡
と、止まらぬっ！♡ お主のチンポで、気持ちよくなりすぎて、と、とまらんのじゃあ……！
♡

(ピストン再開)

お、おおおっ！♡ま、また動くのかっ！？♡あ、あひっ！♡もう無理じゃっ♡ケツ穴壊れるっ
♡
これでは、お主とマンコ交尾をする前につ、儂が快楽で死んでしまううっ！♡
や、やめてくれえッ♡んおっ♡ おごおおっ♡んおおおお！♡イギ死ぬううう！！♡
屁を垂らしながら、アへ顔晒してっ♡
お主の前で、情けなくイキまくってしまいううっ！♡
な、なんじゃ……ッ？♡お主もっ、んひっ、い、イくのか？♡
かまわぬ、かまわぬぞっ♡
遠慮せずに、果てるがよいっ♡

(高速ピストン)

んおおおっ！♡んほおっ♡おほおおおおおっ！♡腰振り早すぎるうううッ！♡

んっ、おおっ……！♡

んぐおお〜っ！♡

(射精 絶頂)

お、おおっ！♡また、出たあ〜っ！♡

熱々ザーメンが、ケツ穴にドクドク注がれておるうっ！♡

んほおおっ！♡お、おお〜っ！♡

(放屁 大きめ)

ほれっ、お主の大好きな屁じゃっ！♡たっぷり嗅いでもっと精液を注げッ！♡

あんっ、おおっ！♡んひいい……♡

(余韻に浸りながら)

はあ、はあ……くくっ……これで、何回目かの……♡

お主、もう何十と射精しておるぞ……♡

流石に疲れてきたのではないかな？

ふふん、心配せずとも、ちゃんとお主が出し切るまで、この儀式は続けるからの。

さあ、次はどんな体位でしょうかのう？

抱き合いながらか？ それとも儂が上に乗るか？

儂の尻にバスバスと腰を打ち付けるのでも構わんぞ♡

……うん？

もう出ない？

やめてくれ？

何を言うておる、まだ始まったばかりではないか。

それに、言ったであろう？

お主の子種が尽きるまで、続けさせて貰うとな……！

さあ、次の体勢に移るとするか……！

(ピストン再開)

んっ、ぐっ、おおおっ……♡お、おおっ……！♡ほれっ、もっと腰をふれえっッ♡

おッ、おッ、おッ、おッ……！♡

(フェードアウト)

くふう……♡ケツマンコ、お主の精液でタップタプじゃあ……♡
こんなにいっぱい出したというのにまだ硬いまとは……♡
まったく、元気の良いことじゃ……♡
さ、そろそろ、頃合かの？
チンポをケツ穴から抜いて……んおっ！♡

（水っぽい放屁 大きめ）

くふ♡勢い余って下品な屁が出てしもうたな♡
おーい、聞こえておるか？
今から、お待ちかねの最後の仕上げを行うぞ……！
今までの前座のようなもの。
本番はこれからじゃ……！
ほれ、気をしっかり持てよ……！
これから行うのは、最も原始的な行い……！
古来より伝わる、子孫繁栄のための神聖な行為じゃ……！
そして同時に、もっとも淫らで、気持ち良い行いでもある……！♡
お主の肉棒を、お主の残った精液を全て、儂のこの神聖なマンコで受け止め、飲み込んでやるのじゃ……！♡
さあ、始めるとするか……！♡
ほおれ、儂のデカケツでお主の腰に跨ってやる……騎乗位じゃ！♡
神たる儂に腰を振らせるとは、悪どいチンポよな♡
ほれっ……！♡
入る、はいるぞっ、念願のマンコ穴じゃっ♡
とくと味わうん、じゃぞお……♡
んっ、ぐっ、んあああっ！♡

（一気に挿入）

入っ、たあ……一気に、全部入ってしもうた……♡
ほれ、してみるがよい……！♡
お主のモノが、根元まで全て、しっかりと、挿入されておるぞ……！♡
どうじゃ、嬉しいかえ……！？♡
うんうん、そうかそうか、嬉しいかっ！♡
ならばもっと、嬉しがらせてやるぞ……ふんっ、ふんっ、ふんっ！♡

(ピストン開始)

んあっ、こ、これは、凄いっ！♡

まるで膣壁が溶けているようじゃっ……♡

お主も感じておるのか？♡

そうか、そうじゃろうなッ……！♡ お主の顔を見ていればわかるぞっ！♡

どうじゃ、このマンコ穴はっ！♡ぬとぬと絡みつく素晴らしい名器じゃろお？♡

この神マンコは、お主のものなのじゃぞっ！♡

お主のためだけの、お主専用のマンコ穴じゃ！♡さあ、存分に堪能するが良い……！♡

んっ、んんっ、んおおおっ……！♡

くううっ、やはり、凄いっ！♡

チンポが、子宮口に当たっておるう……！♡

ほれ、ほおれえっ！♡もっと激しく腰を打ち付けてやろうっ！♡

ふんっ、ぬふおおっ！♡んふああああ〜っ！♡

はあ、はあ……ふひい……！♡ふんっ！

くふっ、下品じゃのっ！♡

下品な放屁交尾じゃっ……！♡

それにしても、くく、強欲なマンコじゃの……！♡

お主のチンポに吸い付いて、離そうとせんっ……！♡

おほっ、おおっ、おおお〜っ！♡

気持ちいいっ……！♡

んぐっ……ぎ、儀式の最後を、お主に教えてやろうな……♡

お主の精液を、マンコの奥深くにぶちまけたその時……！♡

お主がケツ穴にたっぷり出した精液を、全て儂が吸収して、糞に変えてやる……！♡

神と人の子が交わり、婚姻を結んだ祝福の糞……！♡

それをお主が全てその身体で受け止め、儀式は終了じゃ……！♡

ふひっ、ひいっ！♡楽しみにしておるんじゃぞ……！♡

お主のチンポで絶頂を迎えたその瞬間に、尻穴からブリブリと大量の汚物を排泄しお主の身体をうんこで埋めてやるからの……！♡

くふ、くふふふふ……♡

おおおっ、んふっ、んふうっ！♡

(喘ぎ 10 秒：@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@)

お主の肉棒、また膨らんでおるぞ……！♡

なんじゃ、想像してしまったのか？♡

もう、出そうなのじゃな……！♡いいぞ、出してしまえっ！♡

マンコを締めて、しっかり受けて止めてやるからのう……！♡

ほれほれ、お主の方も、腰を振ってみるがよい！♡

……んおっ、おおっ！♡

下から突き上げる無遠慮な腰使い♡たまらぬ……！♡

さあ、もっと興奮できるように、どデカイ屁も、出してやろうな……ふんっ！♡

(放屁 特大)

うお、ごほっ！♡くっさあ♡

こんなに濃厚なオナラの匂い嗅いでたら、興奮して頭がおかしくなりそうじゃ……！♡どれ、もう一発……！♡

(放屁 特大)

あははっ、すまんのう、臭くてたまらぬよな♡

だがこれも愛の証じゃ、我慢してくれよ……！♡ほれほれ、まだ出るぞお……！♡

んほおお〜っ！♡ふんっ、ふんぬっ、んぐっ、おほお〜ッ！♡

ふんっ、フンヌウウ〜っ！♡んあっ、ふっ、ほおっ！♡

んはあ、はあ、はあ……！♡

(喘ぎ 10 秒：@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@)

の、のう……そろそろ、限界なのじゃろう……？♡チンポが、膨らんで震えておるぞ……♡

それでは、最後の一発を、思いっきり吐き出させてやろう……！♡

お主が射精すると同時に、このケツ穴から精液を吸い取る……！♡

そして、特大の糞をぶちまけてやろう……！♡

お主は、神の愛と、人間の愛が入り混じった糞にまみれるがよいっ……！♡

お主のチンポが震えておる……♡

もうすぐじゃな……♡

さあ、出せっ！♡出し尽くせえっ！♡ほらっ、出せ、出すのじゃ！♡

お主の全てを、このマンコで受け止めてやろうぞ……♡

んあっ、くふっ、ぬふおっ！♡

来るか……！♡ほれっ、ほれっ、ほれえっ！♡イけっ！♡出せっ！♡

儂を、孕ませてみせよお〜っ！！♡

(絶頂 射精)

おおっ、んおっ！？♡き、来たあ……！♡子種汁がっ、出てるう♡
くふふ……！♡農も、糞をひり出してしまうぞっ！♡

(いきみ声 5 秒：@@@@@@@@@@@@@@@@)

さぁッ！♡たっぷりその身体で、うけ、とめよおおっ！♡♡

(脱糞 絶頂)

(快感に酔いながら)

ふお、おほおっ！♡

んぎい〜っ♡イグウウ〜〜〜〜っ！♡

糞ひり出してイクうっ、んおお〜っ！♡

おほっ、おほっ、おおお〜っ！♡

と、止まらぬっ、糞がどんどん出てきおるッ！♡なんと鮮烈な快樂なのじゃッ！♡

んぐうっ、おおっ、おおおっ！♡くふう、ふひい……！♡

マンコもっ、勝手に締まって、精液をねだっておるわっ！♡

おほお〜っ！♡気持ちいいいっ！♡

おおっ、イクのがとまらぬうっ！♡

おっほ、おおっ！♡さあ、まだまだ出るぞっ！♡

お主も、もっと精液をだすのじゃあぁっ！♡

全部飲み込んでやるからのう……っ！♡んっ！♡

おお〜ッ！♡

(射精)

きたっ、また精液きたぁっ！♡

はっ、はへっ、はぁっ、おおっ！♡

たまらぬ、たまらぬう……！♡

おほお〜っ！♡ あぁあ〜……♡

(フェードアウト)

はぁ……はぁ……んおお……♡

こ、腰が抜けて、お主も儂も、動けぬな……♡

……おっ、くふっ♡

んおおおおっ……！♡

(脱糞)

……くふう〜っ♡

い、今のが、最後のおっ！♡

(放屁 大きめ)

くふ……糞じゃった、ようじゃの♡くっさいのう、くくく……♡

……の、のう、お主よ。

飢饉は、これで無事に解決するのじゃが……。

お主は、これからどうするのじゃ？

村に戻って、村の者と共に暮らすのか？

儂の元を、離れてしまうのか……？

……い、いやじゃっ、逃がしはせんぞっ！

お主を手放す気などない！

そ、それに……♡

あんなに大量の精液を注いだのじゃぞ……？♡

だからつまり、その……そうじゃ！

責任を取って、夫婦として、儂と一緒に暮らせ！♡

うん、それがよい！

お主もそれがよいであろう？ な？ な！

……本当か！？

儂もきっとそう言ってくれるじゃろうと思うていた！

そうと決まれば、明日はお主と共に村に行って報告じゃ！♡

……さあ、今日はもう、このまま抱き合って寝るとしようかの♡

くく、愛しておるぞ、旦那様……♡

これからも末永く、愛し合おうな……くふふ♡